



第 79 期  
株 主 通 信

平成27年4月1日▶▶平成28年3月31日

株式会社 熊谷組

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに第79期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国や資源国の景気減速の影響等から生産や輸出に一部低調な動きがみられたものの、企業収益の改善が進むなかで設備投資は持ち直し基調にあり、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費も底堅く推移し、景気は足踏みを交えながらも緩やかな回復を続けました。

建設業界におきましては、企業の建設投資が一定水準を維持するとともに住宅投資も増加しておりますが、公共投資は高水準ながら緩やかに減少しており、受注環境は総じて弱含みとなりました。また、コスト面では、建設技術者・技能者不足や労務費高止まりは一部沈静化しておりますが、依然としてリスクが内在する事業環境が続いております。

当社グループはこのような状況のもと、平成27年5月に策定した「中期経営計画(平成27～29年度)」に基づき、将来に向けた収益基盤の整備に総力を挙げて取り組んでおります。

当連結会計年度における当社グループの連結業績につきましては、売上高は、前連結会計年度比5.1%減の3,436億円となりました。利益は、売上総利益率の改善により、営業利益は245億円となり、経常利益は257億円となりました。また、偶発損失引当金繰入額等の特別損失の計上などにより親会社株主に帰属する当期純利益は120億円となりました。

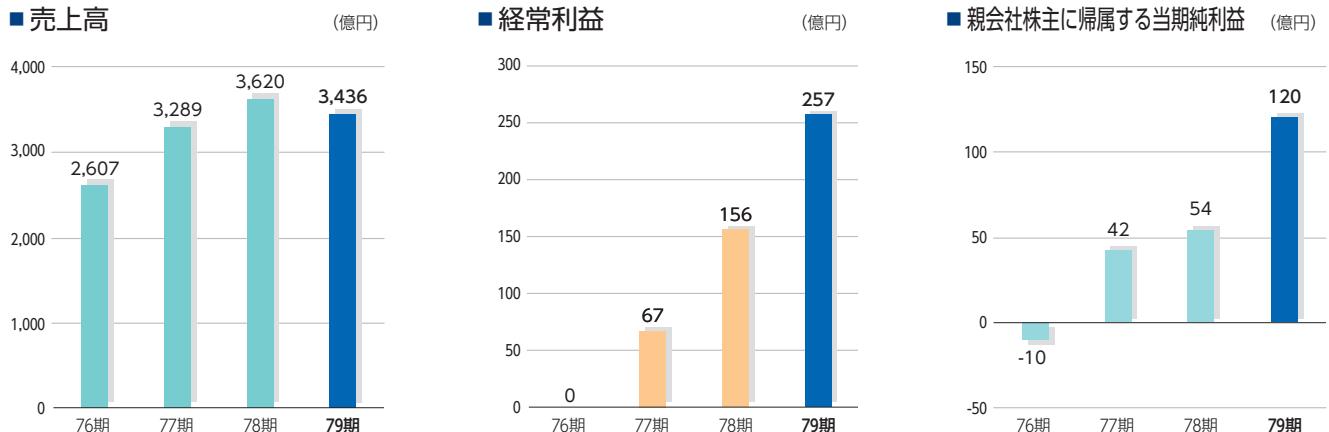
偶発損失の主な内容といたしましては、平成26年に当社の施工不良が判明した横浜市所在のマンションに関して、所有者様、居住者様並びに関係者の皆様にご負担をおかけすることはできず、一刻も早い解決を図ることが当社の責任であると判断し、是正方針の変更を行ったことに伴う対策費用であります。

当該マンションの施工不良問題につきましては、施工会社としての責任を痛感し、所有者様、居住者様、株主様並びに関係者の皆様にご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを心より深くお詫び申し上げます。

今後のわが国経済は、新興国や資源国等の景気の下振れなどがリスクとして存在しますが、雇用・所得環境の改善が続くもとで各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復を続けていくものと思われま。

建設業界におきましては、公共投資は高水準を維持しつつも緩やかな減少傾向が続くとみられますが、民間工

## 連結業績ハイライト



事は企業収益の改善を背景に増加基調を持続し、住宅投資も一定水準を維持すると思われ、受注環境は徐々に回復に向かうと予想されます。一方で建設技術者・技能者不足の進行やコスト高といったリスクには引き続き留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、「再生」から「成長」に向けて将来にわたり市場環境に影響されない安定した収益力の確保を目指した「中期経営計画(平成27～29年度)」を策定し、将来に向けた収益基盤の整備に取り組んでおります。

建造物の外形的・機能的な品質はもちろんのこと、そこに集う人、そこを使う人が満足し続けられる「しあわせ品質」を実現すべく「全員参加の経営」をスローガンに、お客様に最高の“感動”をお届けする『建設サービス業』を目指してまいります。

なお、当社子会社の株式会社ガイアートT・Kは、東日本高速道路株式会社が発注した道路工事に関し、独占禁止法違反の疑いで平成28年2月29日に起訴されました。当社グループといたしましてはこれを厳粛かつ真摯に受け止め、今後の推移を注視するとともに、同社のコンプライアンス体制及び当社グループの内部統制のさらなる強化に全力を挙げて取り組んでまいります。



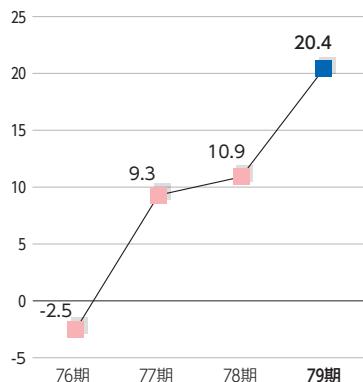
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

取締役社長 樋口 靖

## 主な受注工事

### ■ 自己資本当期利益率 (ROE) (%)



- 東北中央自動車道 やまがたごおうトンネル工事：東日本高速道路株式会社
- 北海道新幹線、二ツ森トンネル（鹿子）他：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター建替等整備工事（建築）：独立行政法人国立病院機構
- （仮称）神戸市中央区栄町通7丁目計画：三井不動産レジデンシャル株式会社

## 新たな熊谷組グループビジョンを策定

当社グループでは、平成27年度を再建から再生へと舵をきる「再生元年」として位置づけ、「熊谷組グループのニューアイデンティティの確立プロジェクト」を進めてきました。

プロジェクトでは、全社から代表で選ばれた社員が約1年をかけてステークホルダーの皆様や役員・社員へのヒアリング、アンケート調査、当社の歴史総括や事業戦略などさまざまな情報を集約して議論し、社員みずからの手でビジョンをとりまとめました。

自らを高め、独自の現場力で「しあわせ品質」をお届けする新たなビジョンでは、当社グループがお客様や社会にお届けしたい価値を明確にし、5年後10年後に向けた当社グループの目指したい姿を示しています。



高める、つくる、そして、支える。

私たちがつくるのは、単なる建物や構造物だけでなく、  
そこに集う人々とともに作りあげていくコミュニティです。

人と人が集い、ふれ合いながら安心して心豊かにくらすことのできる場所。

それをつくり、支えていくのが私たちの仕事です。

使う人の気持ちにこたえる“しあわせ品質”をお届けするために  
技術力と人間力を掛け合わせて高めた独自の“現場力”をもって全力で取り組みます。

そして完成後も、運営、維持管理、修繕、再生まで一貫して携わり、  
新しい物語が生まれ続けるくらしの舞台を、時代をこえて支え続けていきます。

高める、つくる、そして、支える。

100年をこえる歴史の中で育まれた、お客様とともに歩み続ける責任感を胸に。

これからも私たちは、新たなチャレンジを続けていきます。

人がつながる、くらしをつくる。

未来へひろがる、舞台を支える。

熊谷組グループ

## 連結財務諸表の概要

### ■ 連結貸借対照表

(百万円)

科目	期別	第78期	第79期
		(平成27年3月31日現在)	(平成28年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		213,875	215,021
固定資産		41,639	40,503
有形固定資産		15,053	15,745
無形固定資産		240	430
投資その他の資産		26,345	24,328
資産合計		255,514	255,525
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		165,933	157,627
固定負債		36,028	32,964
負債合計		201,962	190,591
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本		49,688	61,004
その他の包括利益累計額		3,863	3,929
純資産合計		53,551	64,933
負債純資産合計		255,514	255,525

### ■ 連結損益計算書

(百万円)

科目	期別	第78期	第79期
		(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)	(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
売上高		362,090	343,647
売上原価		333,052	304,579
売上総利益		29,038	39,068
販売費及び一般管理費		12,934	14,528
営業利益		16,104	24,540
営業外収益		377	1,697
営業外費用		823	465
経常利益		15,658	25,772
特別利益		1,685	997
特別損失		7,313	9,700
税金等調整前当期純利益		10,030	17,069
法人税、住民税及び事業税		5,521	6,789
法人税等調整額		△917	△1,812
当期純利益		5,426	12,092
非支配株主に帰属する当期純損失(△)		△32	—
親会社株主に帰属する当期純利益		5,458	12,092

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	期別	第78期	第79期
		(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)	(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		18,262	4,234
投資活動によるキャッシュ・フロー		△3,042	△448
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,338	△2,926
現金及び現金同等物に係る換算差額		210	△140
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額		14,093	719
現金及び現金同等物期首残高		57,609	71,702
現金及び現金同等物期末残高		71,702	72,422

### ○ 連結の範囲について

連結子会社7社及び持分法適用関連会社3社

#### 〈主要な連結子会社〉

株式会社ガイアートT・K	(東京都新宿区)
テクノス株式会社	(愛知県豊川市)
ケーアンドイー株式会社	(東京都新宿区)
華熙營造股份有限公司	(台湾)

### ポイント

#### 連結貸借対照表

総資産は2,555億円と前期末同水準となりました。  
また純資産は親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により前期末に比べて113億円増加の649億円となりました。  
なお自己資本比率は利益剰余金の増加等により前期末に比べ4.5ポイント上昇し25.4%となりました。

#### 連結損益計算書

売上高は前期に比べて5.1%減の3,436億円となりました。  
売上総利益率の改善により営業利益は245億円、経常利益は257億円となりました。  
偶発損失引当金繰入額等で特別損失を計上したことなどにより親会社株主に帰属する当期純利益は120億円となりました。

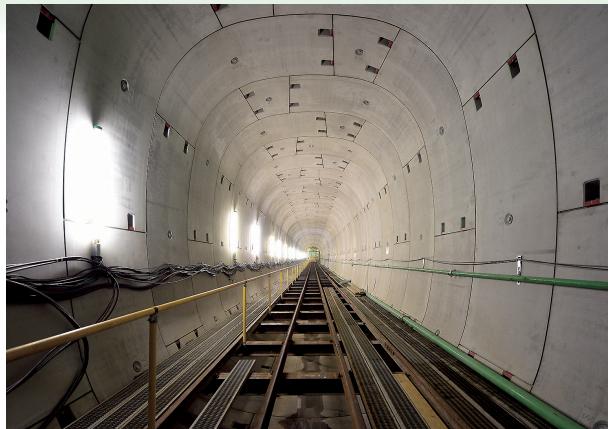
#### 連結キャッシュ・フロー計算書

親会社株主に帰属する当期純利益の増加等により、営業活動は42億円の資金増加となりました。  
また設備の取得更新等により投資活動は4億円、借入金の返済をすめたことや配当金の支払等から財務活動は29億円の資金減少となりました。  
その結果、当期末の現金及び現金同等物残高は、前期末対比7億円増加し724億円となりました。



## 北上川下流長面河口地区築堤工事(宮城県)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した宮城県石巻市長面地区において、一級河川北上川河口部右岸側堤防の復旧工事を施工しました。盛土工では、情報化施工を採用し、GPSを利用して締固め状況の管理と出来形位置の管理を行いました。



## 有楽町線小竹向原・千川間連絡線設置シールドトンネル工区土木工事(東京都)

東京メトロ有楽町線の小竹向原駅から千川駅間に、和光市方面と新木場方面を結ぶ連絡線を新たに設置しました。列車の運行経路上に生じていた平面交差を解消し、渋谷駅における副都心線と東急東横線・横浜高速みなとみらい線との相互直通運転後の列車本数増加への対応が可能となり、また平面交差部における列車の通過待ちが解消されるため輸送の安定性が向上しました。



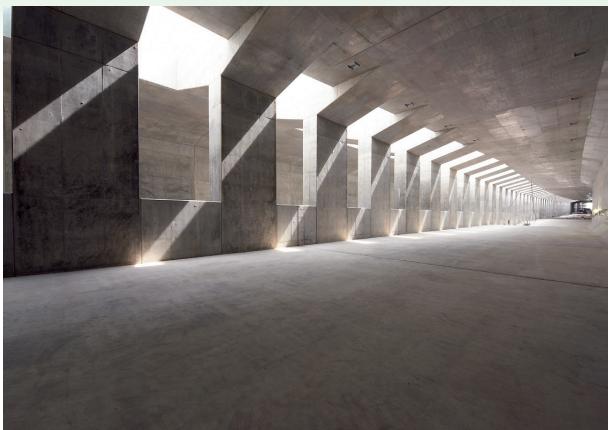
## 土浦市役所本庁舎(茨城県)

当社が平成7年に土浦駅前地区再開発事業として施工した大型商業施設を、市庁舎にコンバージョンする工事を行いました。駅前の利便性を活かし、市民や旅行者が気軽に立ち寄れる親しみやすい施設になりました。



## ザ・パークハウス横浜新子安ガーデン(神奈川県)

JR・京急線の新子安駅近郊の利便性の高い土地にありながら、海拔14mの高台かつ第一種住居地域内の閑静な住宅地に立地する全497戸の大規模マンションです。また、敷地全周に緑豊かな空間を設けると共に、保育所や地域交流施設等の地域ニーズを踏まえた公益施設を設置するビッグコミュニティです。



### 田尻地区函渠その5工事(千葉県)

首都圏における交通渋滞緩和などが期待される「3環状」の一つとなる東京外かく環状道路の千葉県田尻地区において、国道298号及び市道7094号を切回しながら(迂回道路の整備)、開削工法により函渠・掘削スリット及び貯留槽・階段室を構築しました。



### 徳山(発)新設工事の内土木本工事第1工区工事(岐阜県)

当社が施工した日本最大貯水量を誇る徳山ダムを利用した水力発電所を構築しました。発電能力は15万3,000kw以上になり、これは火力にも原子力にも頼らない自然エネルギーで発電する規模としては極めて大きいもので、年間の発電量は一般家庭で約8万世帯分の電力使用量に相当します。



### 三井アウトレットパーク北陸小矢部(富山県)

北陸エリア初の本格アウトレットモールで北陸エリアの気候を考慮し屋内型モールとしました。北陸自動車道・小矢部インターチェンジから約8kmと、富山県内はもとより北陸エリア全域を含む広域からの道路アクセスに優れた立地に全173店舗がオープンしました。



### 社会医療法人鹿児島愛心会 大隅鹿屋病院(鹿児島県)

大隅半島のほぼ中央に位置する地域の中核病院です。災害時にも医療機能を継続するため本館棟に大隅半島で初めての免震構造を採用し屋上にはヘリポートも備えています。また、本館棟の一部と通所リハビリテーション棟は柱をRC造、梁をS造としたハイブリッド構造や地下部分の山留と擁壁の躯体を一体化させるアトミック工法を採用しています。

# TOPICS

| トピックス |



当社の現場周辺で取り組む社会貢献活動 KUMAGAI STAR PROJECT

## 海外現場での地域貢献として、当社の寄付金により小中学校の校舎を寄贈しました

当社は、ミャンマー連邦共和国バゴー地方域タウングー市で教員養成施設の拡充を図るべく、日本政府の無償援助によりタウングー教員養成大学を施工しています。そこで当社は、2016年2月、海外現場周辺での地域貢献として、認定NPO法人ブリッジエーシアジャパン(以下、BAJ)と協働し、タウングー市ティライン村に小中学校の校舎建設プロジェクトを開始しました。

ミャンマーは教育水準を国際的なレベルに向上させるため、義務教育の無償化、学校環境整備と共に教員の能力向上・待遇改善等を重点事項として掲げ、教育改革に取り組んでいます。その一方で、学校に教室が足りないために、上の学年に上がれず、日本でいう中学課程を終えられない子供がいる現状があります。

現場のある地域住民ひとりひとりの記憶に残る出来事を共有し、日本から遠く離れたミャンマーの地に幸せの種をまきたい。未来ある子供たちに学ぶ機会を作り、それぞれの人生で輝く星になって欲しい。そんな願いを込めて、当プロジェクトを、KUMAGAI STAR PROJECT(略して「クマスタ」と名付けました。

建設する学校の調査選定は、当社メンバーが行いました。民間企業が自社の活動地において調査して取り組むスキームは、ミャンマーにおいて「初めてのしくみ」です。

熊谷組から小さな幸せの輪が広がる事を願いつつ、地域に根差した地道な活動として、これからも取り組んでいく予定です。



当プロジェクトを当社と協働して行っているBAJは、就労意欲のある若者をOJT(On the Job Training)で雇用し、手に職をつけ、これからの人生につなげてもらう取り組みをしており、クマスタでも職人の約半分は小中学校を建設したティライン村の住民です。

そこで、当社では、当社施工の現場を見学してもらおう機会を設け、若い技能労働者の育成にも貢献しています。



2016年5月22日 竣工式の様子

ティライン村の多くの村人、先生方や生徒たちをはじめ、当社専務取締役、国際支店支店長、タウングー教員養成大学施工現場の当社職員、BAJ代表者、タウングー市長、タウングー教育省長などが出席し、盛大に行われました。



受賞

第56回BCS賞を受賞

## 「サイエンスヒルズこまつ」



当社が施工し、第56回BCS賞を受賞した「サイエンスヒルズこまつ」(石川県小松市)は、科学とものづくりの精神を継承するための交流拠点として建設されました。地形と緑化した曲面屋根を一体化させ、丘と建築が融合して生まれたデザインが特徴で、平・立面ともに曲面で形成された複雑な集合体をいかに現場につくりだすかという大きな課題を解決して高い評価を得ました。

※BCS賞:一般社団法人日本建設業連合会が良好な建築資産の創出を図り、文化の発展と地球環境保全に寄与することを目的に毎年、国内の優秀な建築作品を表彰する権威ある賞

建築主:小松市

設計者:(株)スタジオ建築計画・UAO(株)・(有)金箱構造設計事務所・  
科学応用冷暖研究所

施工者:熊谷組・加越建設特定建設工事共同企業体

震災対応

熊本地震復旧工事

## 無人化施工で土砂除去工事に着手

平成28年熊本地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社では一日も早い被災地の復旧を目指し、グループ会社一体となって取り組んでおりますが、その中で大規模な土砂崩れが起きた南阿蘇村の阿蘇大橋付近で、新たな災害を防ぐために崩落の危険性がある山肌の土砂を除去し法面の安定化を図る工事を無人化施工で行っています。無人化施工は、有人での復旧作業が困難な自然災害現場において建設機械等を遠隔操作して工事を行うシステムです。

当社は、雲仙普賢岳噴火災害の復興事業である「赤松谷川11号床固工工事」をはじめとする豊富な無人化施工の経験を活かし、大規模災害の際は、世界に先駆け、無人化施工を大いに役立てて国土を守り社会に貢献してまいります。



## 単体の業績について

受注高は、国内建築工事の減少等により前年度比10.9%減の2,935億円となりました。このうち、土木工事は1,094億円、建築工事は1,840億円であり、これらの発注者別内訳は官庁32.1%、民間67.9%であります。

売上高は、同7.2%減の2,674億円となりました。このうち、土木工事は901億円、建築工事は1,773億円であり、これらの発注者別内訳は官庁39.3%、民間60.7%であります。

翌事業年度への繰越高は、同8.7%増の3,252億円となりました。

利益につきましては、売上総利益率の改善により経常利益は220億円となり、当期純利益は103億円となりました。

### ■ 部門別受注高・売上高・繰越高

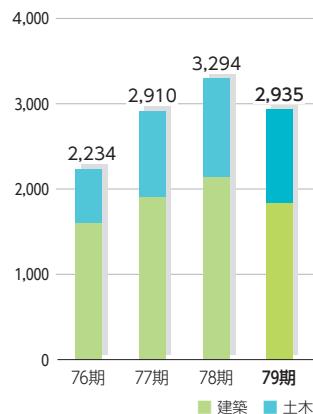
(億円)

区 分	前事業年度繰越高	当事業年度受注高	当事業年度売上高	翌事業年度繰越高
土 木	1,196	1,094	901	1,389
建 築	1,795	1,840	1,773	1,863
合 計	2,991	2,935	2,674	3,252

(注) 翌事業年度繰越高に含まれる海外工事の繰越高について、為替相場の実勢を反映させるため、事業年度末レートで修正しており、この増加額は4百万円であります。

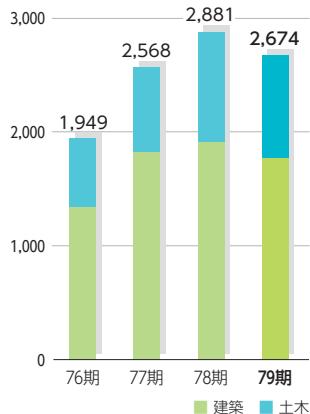
### ■ 受注高

(億円)



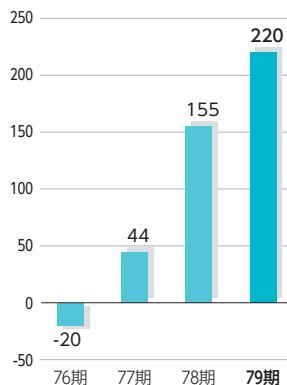
### ■ 売上高

(億円)



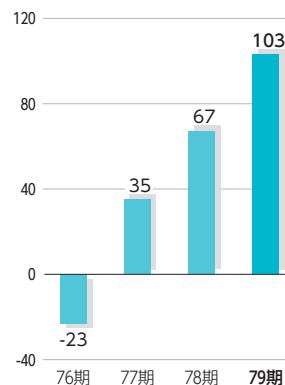
### ■ 経常利益

(億円)



### ■ 当期純利益

(億円)



## 役員 の 状 況

(平成28年6月29日現在)

### 取締役及び監査役

取締役社長 (代表取締役)	樋口 靖	取締役	広西 光一
取締役副社長 (代表取締役)	石垣 和男	取締役	湯本 壬喜枝
専務取締役	小川 晋	常勤監査役	竹間 忠尚
専務取締役	堀田 俊明	常勤監査役	吉川 司
常務取締役	櫻野 泰則	監査役	垣見 隆
常務取締役	嘉藤 好彦	監査役	鮎川 眞昭

(注) 取締役広西光一及び湯本壬喜枝の両氏は社外取締役、監査役垣見 隆及び鮎川眞昭の両氏は社外監査役であります。

### 執行役員

※ 執行役員社長	樋口 靖	執行役員	飯田 宏
※ 執行役員副社長	石垣 和男	執行役員	西川 邦隆
※ 専務執行役員	小川 晋	執行役員	石澤 正通
※ 専務執行役員	堀田 俊明	執行役員	林 克彦
※ 常務執行役員	櫻野 泰則	執行役員	日高 功二
※ 常務執行役員	嘉藤 好彦	執行役員	岸 研司
常務執行役員	渋川 智	執行役員	梶山 雅生
常務執行役員	小川 嘉明	執行役員	大塚 拓美
常務執行役員	高嶋 正彦	執行役員	上田 真
常務執行役員	山崎 晶	執行役員	大野 雅紀
執行役員	大島 邦彦	執行役員	岡市 光司
執行役員	土屋 良直		

(注) ※印は取締役兼務であります。

## 会 社 の 概 要

(平成28年3月31日現在)

創 業	明治31年1月	資 本 金	133億4,116万2,615円
設 立	昭和13年1月	従業員数	2,223名

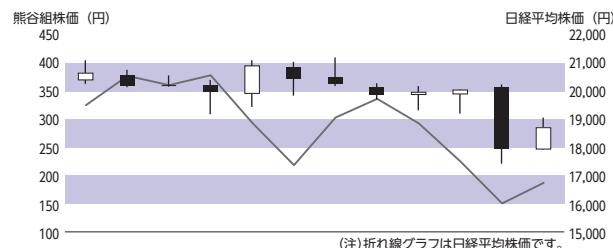
### 主要な営業所

<b>本 店</b> 福井市中央2丁目6番8号 〒910-0006 TEL(0776)21-2700	<b>北 陸 支 店</b> 金沢市広岡2丁目13番5号 〒920-8721 TEL(076)208-3230
<b>東 京 本 社</b> 東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL(03)3260-2111	<b>関 西 支 店</b> 大阪市西区靱本町1丁目11番7号 〒550-0004 TEL(06)6225-2226
<b>北 海 道 支 店</b> 札幌市中央区南1条西6丁目11番地 〒060-0061 TEL(011)261-7271	<b>中 四 国 支 店</b> 広島市中区大手町4丁目6番16号 〒730-0051 TEL(082)241-3222
<b>東 北 支 店</b> 仙台市青葉区上杉5丁目3番36号 〒980-0011 TEL(022)262-2811	<b>九 州 支 店</b> 福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号 〒810-0004 TEL(092)721-0011
<b>首 都 圏 支 店</b> 東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL(03)3260-4750	<b>国 際 支 店</b> 東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557 TEL(03)3235-8639
<b>名 古 屋 支 店</b> 名古屋市中区栄4丁目3番26号 〒460-8402 TEL(052)238-3011	<b>技 術 研 究 所</b> つくば市鬼ヶ窪1043番地 〒300-2651 TEL(029)847-7501

### 海外拠点

中国(香港)、台湾、ベトナム、スリランカ、ミャンマー

### 株価／出来高の推移 (平成27年4月～平成28年3月)



## 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様  
右記の電話照会先にご連絡ください。

## マイナンバー制度に関するお手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

### マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様  
右記の電話照会先にご連絡ください。

## 単元未満株式の買増請求のお取扱いについて

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式数と併せて単元株式数(1,000株)となる株式数について、当社に買増請求をすることができます。

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様  
右記の電話照会先にご連絡ください。

## ご希望の方には「くまがいニュース2016DVD」をお送りします

「くまがいニュース」は各年度における施工実績、最新の技術、表彰案件など当社の事業活動を紹介するものです。ご希望の方はメールまたはFAXで「くまがいニュース2016DVD希望」と書き、送付先の郵便番号、住所、氏名を下記当社「くまがいニュース2016DVD」請求先までお知らせください。  
なお、お知らせいただいた個人情報は、「くまがいニュース2016DVD」の送付のみに使用させていただきます。

「くまがいニュース2016DVD」請求先 メールアドレス: [info@ku.kumagaigumi.co.jp](mailto:info@ku.kumagaigumi.co.jp) FAX: 03-5261-3716

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
	そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031  
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法  
当社のホームページに掲載します。  
<<http://www.kumagaigumi.co.jp/>>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所